

火の活動

紐切り式火おこし

協力して火おこしをして、火の大切さを感じてみよう。



対象	小学 4 年生以上
時間のめやす	1 時間程度
持ちもの	軍手、新聞紙、ろうそく（つけた火を保管する場合）
貸出品	火おこしセット（1 セット 5 人程度） → 火きり棒・火きり板・下敷用の板・ハンドピース・ロープ・麻ひも ※セットは事前にお申し込みください。費用は「利用の手引き」をご参照ください。



①ロープは地面と平行に引っ張り合います(下の写真④)。傾くとハンドピースを押さえる人の手に当たり、ヤケドをする場合があります。

②火種に息を吹きかけるとき(下の写真⑥)、急に炎が立ち上がることがあります。ヤケドをしないように十分気をつけてください。



麻ひもをほぐす。
新聞紙で『受け皿』
を作り、写真のよ
うにセットする。

麻ひもはなるべく
細かくほぐそう。



ロープの両端を持
ち、矢印の方向に
交互に引っ張り合
う。始めは長くゆ
っくりと。

ロープは地面と平行
にし、一直線にピン
と張ったまま引き合
うのがポイント。



ロープを火きり棒
に 2 回 巻 き つ け
る。

ロープが足に擦れな
いよう、写真のように
ロープが 3 本並んで
いるほうを正面にす
る。



火きり板の V 字の
溝に木クズがたまり、
煙が出てきたら、
短くすばやく引き、
火種を作る。

黒いかたまりがでて
きたら、優しく息を吹
きかけよう！赤く光
ったら火種だ！



真ん中の人がハン
ドピースを上から
押さえつける。

すねでハンドピース
を抑えるのがポイン
ト。



できた火種を①の
受け皿に載せ、包
むようにして横か
ら息を吹きかけ
る。
炎が起されば、成
功！

息は細く強く長く吹
くのがポイント。